

2014年5月26日 「切に願う心と訓読」 石川祐司教会長

今日は、徳野会長のみ言解説の映像視聴と、石川教会長の説教でした。以下に、訓読のみ言を掲載いたします。

<訓読のみ言>

『天聖經』

第八篇 信仰生活と修練 第一章 信仰生活とは何か

第二節 信仰生活の目標

神様との父子関係回復

10 統一教会の人たちは、何を信仰生活の目標にして生きなければならないのでしょうか。父母の心情をもち、僕の体をまとい、十字架の道を行くことを目標にして生きるべきでしょう。僕の体というのも、ふさわしくない言葉です。父の命を奪った殺人者の体です。ですから、これを蕩滅するための道を行かなければなりません。イエス様は、罪がなくてもその道を行きましたが、父の命を奪った罪人である私たちは、百回、千回でもこの道を行かなければならないのです。

11 人間が神様に対して切ない心情で深刻に訴えても、神様を探し出すことができなかったのは、人間が墮落によって神様と父子関係が結ばれなかったからであり、天倫にかなう愛の関係が結ばれなかったからです。ですから、人間がこのような立場に落ちるようになった原因と内容を知らなければならず、サタンの真相をはっきりと明かして、本来の立場を回復しなければなりません。言葉によって結ばれる父子の関係、約束だけで結ばれる父子の関係は必要ありません。心を尽くし、力を尽くして父のみ旨のために生き、骨肉が溶け出す苦痛の中でも耐えて勝利するようになるとき、私たちは、神様と父子の関係を回復できるのです。